ボーリング柱状図

調　査　名　県立広島大学三原キャンパス斜面補強事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名　県立広島大学三原キャンパス斜面補強事業

シートNo

ボーリング名	B－2	調査位置	広島県三原市学園町1－1			北緯	34° 23’ 26.90”
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			調査期間	令和 1年 8月 16日 ～ 31年 8月 17日	東経	133° 03’ 20.64”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +24.25m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 30°	使用機種	試錐機	東邦地下工機　D－1B58型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマーNFD12型	ポンプ	東邦地下工機　BG－3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	24.18	0.13	0.13		粘土混り砂	暗褐	緩い		砂は細砂主体で、木根や落葉が混じる。	
1					砂岩泥岩互層(強風化岩)	淡褐			一見岩盤被覆層との区別が難しい程風化しており、容易に砕けて土砂状になり易い。深度0.45mまで、少量の植物根が混入する。	
2	21.80	2.30	2.43							
3					砂岩泥岩互層（風化岩）	褐			一部でコアの外周が認められるも亀裂が発達しており、全体的に脆弱である。部分的に粘土化している。ハンマーの軽打で礫状に砕け易い。	
4										
5										
6	17.70	4.10	6.55							
7					砂岩泥岩互層	灰～暗褐灰			採取コアはおおむねL=10cm以上の短棒状主体。コア肌は粗く、泥岩質部は破砕されており、細かい亀裂が発達する。ハンマーの軽打で金属音を発する。岩盤等級DH～CL相当。	
8	15.55	2.15	8.70							8/16
9	14.90	0.65	9.35		砂岩泥岩互層(風化岩)	暗黄褐～灰			風化しており、全体的に脆弱である。ハンマーの軽打では濁音を発する。	
10	14.25	0.63	10.00		砂岩泥岩互層	暗灰～赤褐			採取コアは岩片～短棒状主体。深度9.6m付近は赤褐色の泥岩質部を挟む。最下部は、石英に富む。岩盤等級DH～CL相当。	8/17

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	3	7／30	7
1.45					
2.15	3	4	6	13／30	13
2.45					
3.15	6	8	9	23／30	23
3.45					
4.15	6	7	7	20／30	20
4.45					
5.15	6	6	7	19／30	19
5.45					
6.15	8	12	15	35／30	35
6.45					
7.10	23	27		50／20	75
7.30					
8.10	17	19	14／6	50／26	58
8.36					
9.15	11	16	23／9	50／29	52
9.44					
10.00	23	27／8		50／18	83
10.18					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日